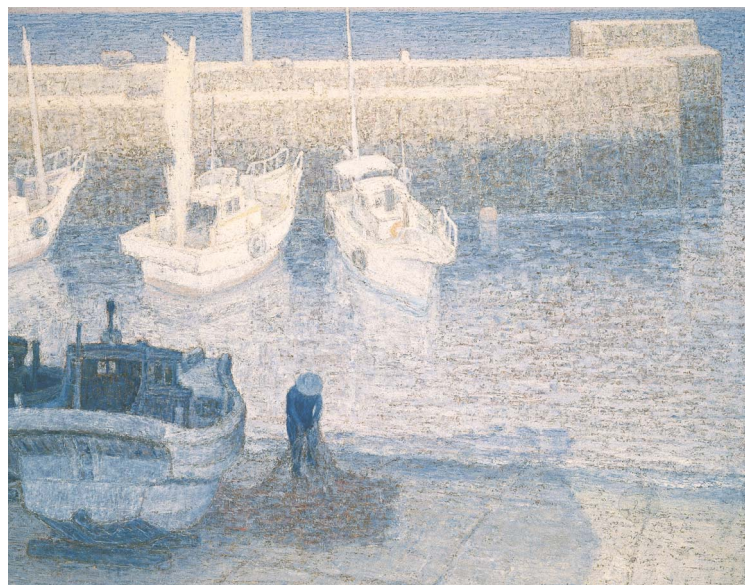


馬馬会

TODOROKI KAI

40年の足跡

木下 和
田谷行平
三原捷宏



上から、田谷行平《ばばぬき》1985年 三原捷宏《島の渡止場Ⅲ》1987年 木下和《山帰来ーとべない貝ー2》1987年

TODOROKI KAI

馬馬会

—— 40年の足跡 ——

木下 和 田谷行平 三原捷宏

「轟(とどろき)会」は、木下和、田谷行平、三原捷宏が1980年代に結成したグループの名称です。「轟」とは、馬が駆け抜ける様子を意味し、全員が1942年「午(うま)年」の生まれであることに由来します。当時の広島洋画壇の中核であった武永横雄、新延輝雄、岡崎勇次ら先輩たちを目標とし、美術団体の枠を超えて、ともに画業に切磋琢磨していた頃に発足しました。

本展では、轟会結成の前後、3人の30代～50代前半の仕事を起点に、現在に至るまでの作品を展覧します。画風やモチーフの変遷をたどることで、今の広島画壇をリードする彼らの作品の魅力と活動を顧みる機会となれば幸いです。

関連催事

公開座談会「轟会と広島洋画壇40年」

登壇者／寺本泰輔(元・呉市立美術館館長、比治山大学名誉教授)、木下和、田谷行平、三原捷宏
日時／3月20日(金・祝) 10:30～12:00 会場／泉美術館 定員／70名
参加無料(要入館券)・予約不要



- JR山陽本線「新井口駅」から徒歩約10分
または、アルパークバスロータリーより「LECT行き」乗車、
「商工センター2丁目」下車徒歩1分
- 広電宮島線「草津南駅」から徒歩約7分
- 駐車場無料(エクセル本店駐車場をご利用下さい)

公益財団法人 泉美術館

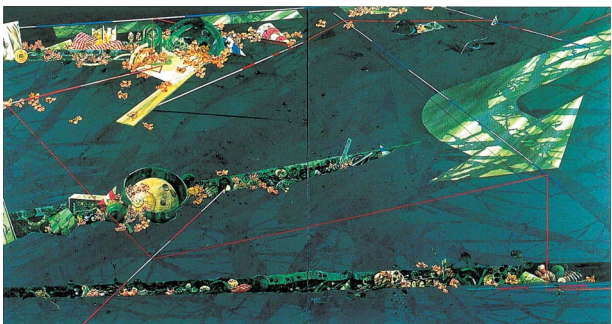
〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1エクセル本店5階
TEL 082-276-2600 FAX 082-276-2612
HP <http://www.izumi-museum.jp/>

KINOSHITA Kazuo

木下 和



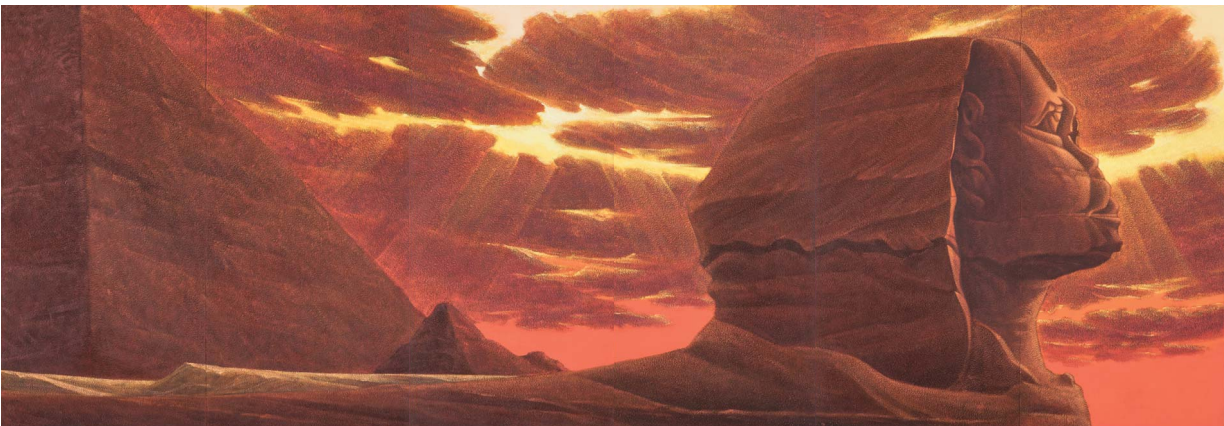
- | | | | |
|------|---|------|--|
| 1942 | 広島市に生まれる | 1994 | エジプト取材旅行開始
〔2018/12回〕 |
| 1965 | 広島大学教育学部美術科卒業 | 1999 | 「遺されしものへ」エントラファオ
の伝言 I 木下 和展③越／広島 |
| 1966 | 第19回関西新制作品展
関西新制作家大坂市長賞
〔1972関西新制作家〕 | 2003 | 「遺されしものへ」エントラファオ
の伝言 II 木下 和展③越／広島
〔広島県民文化センター〕 |
| 1972 | 第36回新制作品展新作家賞受賞
協友推挙 | 2008 | 「遺されしものへ」エントラファオ
の伝言 III 木下 和展③越／広島
〔広島県民文化センター〕 |
| 1973 | 第7回現代日本美術選抜展
招待出品文化庁主催 | 2009 | 「遺されしものへ」エントラファオ
の伝言 IV 木下 和油絵展
〔広島県民文化センター〕 |
| 1977 | 第30回関西新制作品展
第30回記念賞受賞 | 2015 | 「遺されしものへ」自然と時空との
邂逅 I 木下 和展③越／広島 |
| 1986 | 新制作協会会員推挙 | | |
| 1988 | 〔2023/88 木下 和展
広島県民文化センター〕 | | |
| 1989 | 第30回安井賞展作品
彫刻の森美術館 神奈川 買上
ヒロシマアートプリント89受賞 | 現在 | 新制作協会会員、日本美術家連盟会員 中国
地区代表 |
| 1992 | 第56回新制作品展 会員特別発表
16点展示 京都市立美術館 | | |



《遺されしもの》1993年



《遺されしもの》散華ひろしま波山城19
2019年



《遺されしもの》100油 2000年

MIHARA Katsuhiko

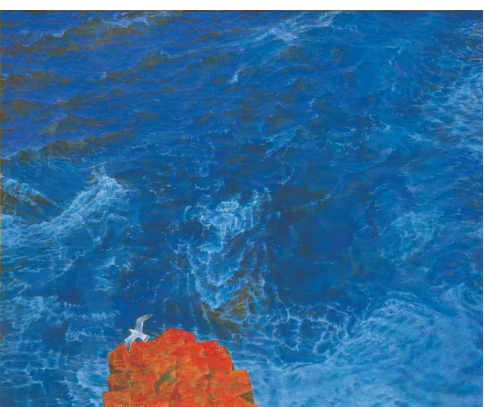
三原捷宏



- | | | | |
|------|-------------------------------------|------|--|
| 1942 | 福山市に生まれる | 1995 | 第27回日展会員賞受賞〔選〕
紺綬褒章受章〔06回〕 |
| 1963 | 第49回光風会展光風賞受賞
第6回日展初入選 | 2001 | 第63回中国文化賞受賞 |
| 1965 | 広島大学教育学部美術科卒業 | 2006 | 第38回日展内閣総理大臣賞
受賞〔海風〕 |
| 1969 | エール・デュ・ザール
フランス国立美術学校に学ぶ
〔70〕 | 2009 | 「潮騒を描く三原捷宏展」
〔ひがし美術ギャラリー／広島〕 |
| 1979 | 第3回日洋展三越賞受賞
《夏の終わり》 | 2013 | 広島県地域文化功労表彰 |
| 1980 | 第12回日展特選受賞 | 2014 | 広島文化賞受賞 |
| 1981 | 現代日本美術選抜展選抜
文化庁主催 | 2015 | 地域文化功労者表彰
〔文部科学大臣〕 |
| 1984 | 日洋展運営委員〔86年まで〕 | 2016 | 一般社団法人日洋会理事長 |
| 1985 | ヒロシマアートプリント84受賞 | 118 | |
| 1987 | 第28回安井賞展入選〔88年回〕 | | |
| 1987 | 第19回日展特選受賞〔浜の韻〕 | 現在 | 一般社団法人日洋会理事 顧問、公益社団
法人日展特別会員、広島市立大学名誉
教授、日本美術家連盟会員 |
| 1993 | 第25回日展新審査員〔以後5回〕 | | |
| 1994 | 日展会員 | | |



《海風》2006年 株式会社イマ蔵



《海景 浦富の冬》2018年



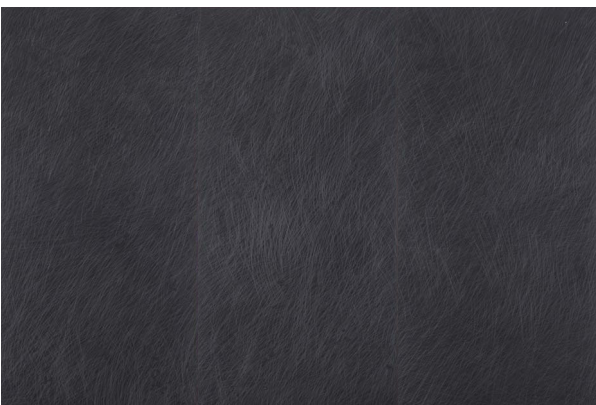
《海景 浦富の冬》2018年

TADANI Kouhei

田谷行平



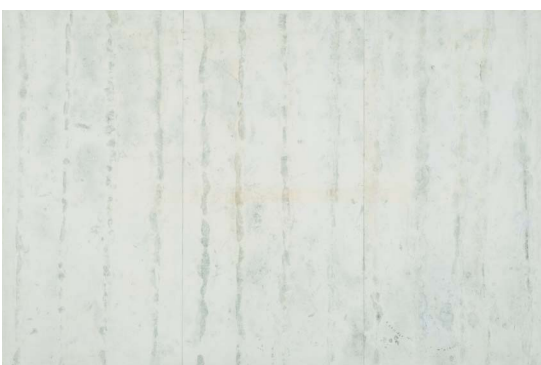
- | | | | |
|------|---|------|--|
| 1942 | 広島市に生まれる | 1994 | 韓国広島交流展ツウル韓国
個展「私の声が聞こえますか」
〔広島県民文化センター〕 |
| 1959 | 洋画家福井芳郎に師事 | 1995 | 戦後50年記念展「ヒロシマ80」
〔広島県内6会場巡回〕 |
| 1963 | 第5回新協展初出品〔現在〕
個展 画廊／広島〔83〕 | | 入野忠芳・香川龍介との3人展以後10年
ごと開催 |
| 1967 | 第11回安井賞展入選以後7回入賞
第25回〔移・28回〕ハ抜き
安井賞候補となる | 1996 | 大邱TAE G Uビナーレツウル韓国
ヒロシマ現代美術展（ハイパードン） |
| 1972 | 鈴木三重吉賞入賞作品押絵〔89〕
新協展 文部大臣賞受賞
〔新協大賞ほか5回受賞〕 | 1997 | 広島市現代美術館（ハイパードン）
委託制作「AGAPE」 |
| 1983 | 個展「ヤリ・タリ」／広島〔現在〕
第1回ヒロシマアートプリント83受賞 | 2009 | 大作個展「記憶の時間」〔モリノ／広島〕
「生命を凝視する入野忠芳・田谷行平」
〔ひがし美術ギャラリー／広島〕 |
| 1987 | 綴帳制作 安芸ランドホテル／広島 | 2017 | 個展「八千代の王美術館」／広島 |
| 1990 | 第1回公募「広島美術」佳作賞
受賞〔広島市現代美術館〕 | | |
| 1993 | ヒロシマ現代美術展ツウル韓国 | 現在 | 新協美術会理事 |



《EMOTION》2016年



《記憶》1995年 株式会社中国ホンダ販売蔵



《記憶》1997年